

地域自主組織『やらいや逢坂』

活動自粛中でも集落さんと協働で取り組み

〇2回目の活動自粛期間

7月19日から9月13日までの約2カ月間、新型コロナウイルス対策でほとんどの活動を自粛していました。以前から感染防止対策をしながらコミュニティスペースまぶやの開館や体育活動、文化的活動など小さい規模での活動をして、地域住民の生活の動線の中に馴染んでいただけに、それらの活動ができないことはとてもつらい時期でした。

7年間のやらいや逢坂の活動は地域に少しずつ定着しており、利用する側にとっても運営する側にとっても生活の一部になっている場合があることを改めて認識しました。感染対策のためとはいえ当事者にとってはそれがなくなる事の影響は大きいと感じました。スーパーや病院などなくなると生死に関わりませんが、それ程ではなくても生活の中で住民同士の何気ないコミュニケーションをとれる場、気軽に立ち寄り一息つける場、体を動かしたり手を動かしたりして気分転換ができる場などの大切さを実感しました。

〇集えないけど・・・

そんな中でも集落さんに協力いただいてジャンボカボチャコンテストと敬老事業は実施することができました。

【ジャンボカボチャコンテスト】

毎年9月最終日曜日に開催していた町民運動会ふれあいまつりは、昨年に続き中止となりましたが、その中のプログラムの一つのジャンボカボチャコンテストは行いました。春に各集落にジャンボカボチャの種を配布、栽培をしていただき9月になってまぶやの玄関に展示、計測、表彰をしました。



▲カボチャの栽培について意見交換

〇表彰式の様子

広くツルを伸ばし圃場の場所をとるカボチャを出品用に栽培していただくのは農家の方にとっても負担になるという声もある中で、また、天候によっては傷がついたところから腐りやすく、栽培も難しい中でも2集落から2個ずつのエントリーがありました。

コンテストでは重さ、胴回り、高さ、色つやの4点を審査し各賞を決定します。優勝のカボチャチャンピオンは、二年連続で殿河内集落さんでした。来年度に向けて再チャレンジの意欲のある集落もありうれしい限りです。

【敬老事業】

昨年に続き、会食を控えなくてはならず合同敬老会が実施できないため、各対象者へお渡しする弁当や記念品の準備代行をしました。昨年よりも参加集落が増え、8集落に参加していただきました。

希望の日に集落の公民館へ弁当や記念品をまとめて配達。各対象者宅へのお届けは集落役員さんが中心にされました。複数集落分をまとめて購入することで、割安で良い品を記念品にすることができ、対象者からも好評いただきました。

〇交流人口増とコロナ対策

コミュニティスペースまぶやには地域内外からの来館があり、地元の方と初めて大山町やまぶやに來られた方との関わりが自然に生まれるのが魅力です。今後も感染対策をしながら地域内外の交流人口、関係人口が増えるきっかけとなる場づくりをつづけていけたらと思います。

なおご来館、催しへの参加の際は体調不良の方、風邪症状のある方のご来館はお控えくださいますようお願いいたします。また、コロナ対策のため急遽まぶや閉館や催しが中止になることがありますのでご承知ください。



▲敬老事業で弁当や記念品の準備代行

☎ やらいや逢坂事務局

小林080-1946-2614